

環境調査結果のお知らせ

令和元年10月18日10時から浦戸湾(高知市横浜・県漁協浦戸支所前岸壁)の環境調査を実施しましたので、結果をお知らせします。

水温・塩分(表1、表2)

湾内の水温は22.5~25.2℃で、前回調査時(H31.9.20)と比較して全層で2.4~3.3℃下降しました。塩分は19.4~31.6で、前回調査時と比較して全層で0.3~4.5下降しました。

溶存酸素量(表3)

湾内の溶存酸素量は4.3~7.2mg/lで、前回調査時と比較して表層及び2m層から底層で0.7~1.5mg/l増加し、1m層で0.5mg/l減少しました。

透明度、プランクトン(表4、表5)

透明度は1.9mでした。
 検鏡の結果、有害種は確認されませんでした。

海面の様子や魚などの生物の異常がみられたときは、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして保存するとともに、直ちに水産試験場または中央漁業指導所まで連絡してください。

表1 水温(℃)

測定水深(m)	今回調査	前回調査(H31.9.20)	
			差(今回-前回)
0m	22.5	25.7	▲ 3.2
1m	23.8	26.2	▲ 2.4
2m	25.1	28.4	▲ 3.3
B-1	25.2	28.5	▲ 3.3

表2 塩分

測定水深(m)	今回調査	前回調査(H31.9.20)	
			差(今回-前回)
0m	19.4	23.9	▲ 4.5
1m	24.3	24.8	▲ 0.5
2m	30.4	30.7	▲ 0.3
B-1	31.6	32.2	▲ 0.6

表3 溶存酸素量(mg/l)

測定水深(m)	今回調査	前回調査(H31.9.20)	
			差(今回-前回)
0m	7.2	6.5	0.7
1m	5.2	5.7	▲ 0.5
2m	4.3	3.6	0.7
B-1	4.6	3.1	1.5

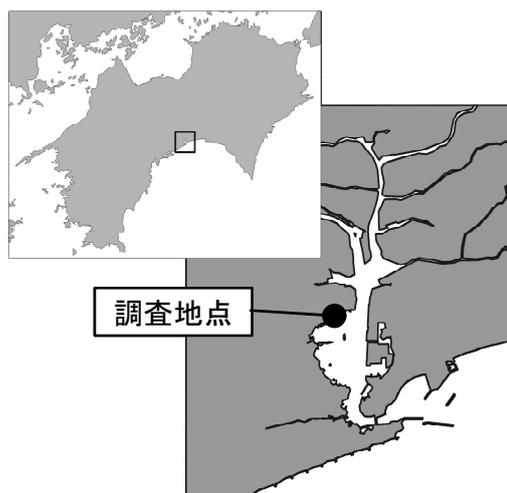


表4 水深・透明度(m)

	今回	前回
水深	3.8	3.8
透明度	1.9	2.6

表5 プランクトン(cells/ml)

測定水深(m)	ヘテロシグマ・アカシオ	アカシオ・サングイネア	ジャイロディニウム属	珪藻類
0	0	0	0	0
1	0	0	0	0
2	0	0	0	10

漁業被害が想定される細胞密度

・ヘテロシグマ・アカシオ:
 10,000~50,000cells/ml(魚類等のへい死)

「環境調査結果のお知らせ」はホームページでもご覧いただけます。

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/040409/akashiojoho.html>